

御坊市新庁舎建設基本計画（素案）に係るパブリックコメントの結果について

1. 募集期間 : 平成30年11月15日（木）～12月10日（月）
2. 意見の提出者数 : 15人
3. 意見の内容及び意見に対する回答
 ※ 1件の意見の内容が多岐にわたるものは分けて記載しています。

提出者番号	整理番号	意見の内容	意見に対する回答
1	1	<p>【構造計画、津波浸水等に対応した設計に関する意見】（25～32 ページ）</p> <p>これから新庁舎計画に向けての検討事項として現地候補は致し方ないとする津波対策はどうかという問題が出てくると思われる。</p> <p>耐震構造はしかり構造物の質をどのようにするのか問題であろう。</p> <p>現状鉄筋コンクリートの構造でしか考えられないし、その構造そのものをいかに津波に耐えられるかの構造にしなくてはならないと思われる。</p> <p>過去の大地震の建物破壊の状況を考えても想像を絶する破壊力はまさしく想定を超えているものである。いかに少しでも自然破壊力ものから避けることが可能な構造を考える必要があることには間違いない。津波の方向を考えることがまず第一であり安定した高さ、階段状建築で重心をなるべく下方に持つことも大事で、一階の構造を吹き抜け状態にすれば津波を双方に逃がすことができる。また一階を駐車場にすればよい。二階以上は事務所、精々3階までが安定した構造といえるかもしれない。</p>	<p>現在地での建替えとなると、地震・津波対策は、多くの市民の皆様にとって最も関心のある事項だと思われま。いただいたご意見を踏まえて、基本設計・実施設計段階で必要な対策を盛り込んでまいります。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
1	2	<p>【部署配置の考え方に関する意見】 (21～22 ページ)</p> <p>市民との窓口は、できるだけ集約をして、無駄な窓口は減らすこと。一番良いのは一か所ですべて受付をしてもらえることが市民にとって便利と思われませんか？将来 AI 技術により書類の簡素化が図られる時代にそうためにも急務である。</p> <p>縦割り部署別の考えは、時代遅れでコンビニでも処理できる時代と思われることをかんがえて取り組んでもらいたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、利用者にとって、一か所の窓口で複数の手続きを済ませられることが望ましいと存じます。</p> <p>一方で、市役所窓口で取り扱う業務は多岐にわたり、応対する職員には専門性が求められることから、全ての手続きや届出等を同じ窓口で受け付けた場合、各担当課から窓口へ職員が入れ替わり立ち代わり移動することとなり、その間は事務作業ができないなど、業務が非効率的になる恐れがあります。また、窓口を分けることのメリットとして、来客の行列ができるのを防ぎ待ち時間短縮につながるものが考えられます。</p> <p>上記を踏まえ、一か所の窓口で全ての受付をする方式は難しいですが、新庁舎では関連する窓口をできるだけ同一フロアに配置するなど動線を工夫するとともに、わかりやすい案内機能を設置し、便利で利用しやすい庁舎とします。</p> <p>また、将来の組織改編等に応じて柔軟にレイアウトを変更できるよう、オープンフロアを基本とした設計とします。</p>
2	3	<p>【安全・安心な庁舎の考え方に関する意見】 (9 ページ)</p> <p>安全性の面で津波が来るとわかっているところに建築するのはいかがなものか。</p> <p>これから建築するのだから、来庁者、職員、そして庁舎も絶対安全なところの方がよい。</p> <p>津波が来ている最中、直後もっとも市役所が機能しなければならぬときに使えないのは何のための役所か。</p>	<p>新庁舎の建築場所については、これまで市議会の新庁舎建設調査特別委員会や新庁舎建設市民懇話会、またアンケート調査を実施していただいた御意見、御提言を十分に参考にしつつ、今後のまちづくりなど総合的な見地から精査、検討を重ねてきたところです。その上で、現在地での建替えが最適であるとの考えに至りました。</p> <p>その理由として、次の3点が挙げられます。</p> <p>1点目は、市民の皆様の利便性の観点から、現庁舎周辺には福祉センター、商工会館、法務局、金融機関、税務署等の主要施設があり、市庁</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
			<p>舎と官公署との連携が容易になることにより、市民の皆様方の利便性の向上につながると思われることです。</p> <p>2点目は、市民の皆様方の安全と安心及び市民生活を守るため、緊急的な避難場所としての機能を持った重要な施設として市庁舎の早期整備が必要なことです。</p> <p>3点目は、現在の庁舎は昭和48年6月に建設され、45年の長きにわたり本市の中心的な役割を担ってきたことから、これまでどおり市民の皆様方のまちづくりの拠点として今後も期待できると思われることです。</p> <p>以上、これらのことを総合的に判断し、現在地での建替えという結論に至りました。</p> <p>新庁舎の安全性については、高い耐震性能を実現するために、免震構造の採用を計画しています。</p> <p>また、現在地は、南海トラフ巨大地震が発生した場合は津波による浸水が予想されていますので、新庁舎は、津波による浸水を考慮した設計とする計画です。具体的には、1階の階高を高く設定することで津波浸水の被害を最小に抑えるとともに、1階には会議室やホール等、浸水しても市役所の業務継続に影響が少ない部屋を配置するなどの方法を計画しています。</p> <p>なお、市役所庁舎が津波被災時には、湯川中学校に災害対策本部機能を移して対応に当たります。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
2	4	<p>【新庁舎の規模に関する意見】（18 ページ）</p> <p>想定人口、特別なことがない限り人口減少には歯止めがかからないので、もっと先のことを見据えた人口、職員数、庁舎の大きさを考えるべきだ。絶対に税収は減少する。</p>	<p>11 ページの「(2) わかりやすく親しまれる庁舎」および13 ページの「利用者にやさしい庁舎」の各整備方針等に示した通り、現在、分散配置している教育委員会事務局を本庁舎に集約するほか、現庁舎で不足しているバリアフリー機能の拡充など、利用者にやさしい庁舎を実現するため、新庁舎の規模を7,000 m²と想定しています。</p> <p>ご指摘の「将来的な税収減を考慮した庁舎の大きさ」につきましては、15 ページの「(4) 経済的・効率的で環境にやさしい庁舎」にて示した通り、省エネルギー技術の活用や耐久性の高い資機材を使用することで将来的な庁舎の維持費の縮減および施設設備の長寿命化を図り、維持等に係る財政的負担を軽減できると考えます。</p> <p>なお、本市では、平成11年4月に411人だった職員数（本庁舎以外の勤務者を含む）を平成28年4月には321人へと、90人（21.9%）の削減をしました。しかし、近年、県から市町村への権限移譲、市民の行政ニーズの多様化などの要因から業務量が増加する傾向があるとともに、福祉部門等への専門職配置が求められるなど、行政を取り巻く環境の変化があり、性急な職員数削減が難しい状況が続いています。</p> <p>平成29年3月に本市（総務課）が策定した「御坊市職員定員適正化計画」でも、平成34年度まではほぼ現状の職員数で推移することが見込まれています。</p> <p>将来的にはさらに職員数が減少する可能性があるものの、新庁舎供用開始時までには急激な職員数減少は見込めないことから、新庁舎は、基本計画（素案）18 ページに記載しているような職員数、規模で想定しています。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
			ただし、来年度に予定している基本設計の段階で、想定している7,000㎡よりも設計面積が小さくなる可能性はあります。
3	5	<p>【建物配置に関する考え方に関する意見】（24 ページ）</p> <p>現地点に建築予定を東へ移し、紀州鉄道を跨ぐ市庁舎にできないものか。鉄道を跨ぐ庁舎は全国に例がないと思う。（国交省の判断もあるかと思いますが。）</p>	<p>鉄道を跨ぐ庁舎の建設事例については全国でも例が少ないです。</p> <p>（【例】高知県四万十町役場〈庁舎間をつなぐ自由通路が線路を跨ぐ構造〉）</p> <p>限られた予算・スケジュールで実現は困難であると考えます。</p>
4	6	<p>【建設地に関する意見】（24 ページ）</p> <p>建て替えを、進めています。市民の、意見を、聞いて欲しいです。建物のまえに、高台へ移転、現在地に建て替えかを、地区懇談会などで市民の意見をきくべきではないでしょうか!?回りの市町は、すべて高台へ、なぜ御坊市だけが現在地に、職員が、被災したら、誰が市民を助けるのでしょうか!?津波だけではなく、水害も、御坊市には、危険です。建物が助かっても交通網は、瓦礫、車、船、ヘドロ、で使えませんそんな中で、職員の、安全が確保できますか。!?まわりの、市町に、助けてもらうのか!?東日本大震災に、学ぶものがなかったのでしょうか!?立ち止まってよく考えるべきではないでしょうか!?想定外は、ありません。それこそが、東日本大震災の教訓では、ないのでしょうか!?</p>	<p>「整理番号3」の意見に対する回答をご参照下さい。なお、ご指摘のように津波等で被災した場合は、代替施設として災害対策本部を津波浸水区域外である湯川中学校に設置し運用すると「御坊市地域防災計画（平成29年度修正）」に定めています。（同計画1-45）</p>
1	7	<p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】（11 ページ）</p> <p>以前意見書を提出いたしました。最近思ったことですが教育委員会、および公民館の建物の位置ですが、市民文化会館での催しがあれば駐車場が少ないことに、非常に問題になっています。</p>	<p>11ページの「（2）わかりやすく親しまれる庁舎」の「〈整備方針〉①」で示しているとおり、教育委員会機能を新庁舎内に集約する方針であります。ただし、教育委員会事務局の建物については昭和60年に建築しており、耐震性および老朽化についても問題ないことから、即</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>いまの2つの建物を新庁舎内にもっていくことで解消されると思われる。</p> <p>いまの位置を駐車場にすることで市民文化会館での催しでの駐車場問題が解消されるのは明白でたとえ教育委員会の建屋でも移動すれば、駐車場が広がり若干解消されると思われます。また公民館とも共用できる。</p>	<p>時に除却とするのではなく、今後の利用方法についても検討していくこととします。</p> <p>なお、催し等で多数の来客が予想される場合は、市役所庁舎と御坊郵便局の間の空き地（旧職業訓練センター跡地）を開放し、駐車場としてご利用いただいています。</p>
5	8	<p>【新庁舎の規模に関する意見】（18 ページ）</p> <p>建設基本計画はひとくちに言って盛りすぎと言う印象です。盛るのは割合簡単ですから、～たらいいよね。と言う考えで進めがちです。</p> <p>問題なのは</p> <p>①今後50余年を使うと考える基礎に、人口24,100人として、いることに少し甘さを感じます。身の丈に合った建物としての規模を考える事が大切。</p> <p>問題①について</p> <p>日本では今高齢者の人口割合が急速に増えていて、後10年もすると御坊市の人口は2万人も怪しくなるのではと想像します。</p> <p>その分市役所の仕事は少なくなって当然だし、其の上税金としての歳費が少なくなれば一番困るのは、サービスを受ける市民です。</p> <p>と言っても今は、政府が何とかしてくれる状態でしょうが、いつまでもツケを将来の市民に残すわけにはいきません。もっと</p>	<p>「整理番号4」の意見に対する回答をご参照下さい。</p> <p>現庁舎と比較して必要以上に華美な施設・設備にならない様に基本設計・実施設計において新庁舎の機能を精査していきます。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>考え方をシンプル、コンパクトにして、小さな町に大きな市庁舎だけが残る結果とならないようにすべきです。</p> <p>計画では規模を決める根拠は、現在の職員数から割り出しています。</p> <p>初めて知ったのですが、職員の半数が役職についているという事は、仕事量に対して職員数が多いと理解すべきでしょうか。時代がかわったのですね。しかし職員数は企業のようにカットするわけにいかない事情も分かります。</p> <p>だからこそ現状より大きな規模にする事には反対です。</p> <p>又、今現代の規模を考えると、議会棟は全く無駄な空間を保有して、十分生かせていません。これも将来を考えると縮小でしょう。こう考えると、全体を少しでもコンパクトにすべきです。</p> <p>建物が大きくなると、メンテナンス、維持管理が、ランニングコストとして跳ね返ってきます。</p> <p>身の丈に合った規模にすることがなにより重要と考えます。各課に振り当てられる中身については、時代に即して変化させることは賛成です。</p>	
5	9	<p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】（11ページ）</p> <p>今回の計画では、教育委員会が組み込まれる計画になっています。この際新しくなることへの理解もできますが、どちらかと言うと図書館、公民館の方と組み込む方が、関連性があり、人員の無駄を省き、市民の気持ちに添える気もします。公民館の2、3階レイアウトを変えることで解決できませんか。</p>	<p>ご提案いただいた教育委員会機能の公民館への移転については、公民館・図書館が現在市民の皆様の文化的活動の拠点となっているため、現状では困難かと考えます。</p> <p>また、11ページにて市民の憩いのスペースを確保すると示していますが、これは現在庁舎1階ロビーで開催している作品・パネル展示や福</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>市民の立場では、要らないものが多すぎます。</p> <p>今まで50年近く住んだ経験から、新しく提示している内容の必要性を感じる事が出来ません。</p> <p>市民として市役所を訪れるのは、色々ありますが、書類を貰う事、提出する事、解らない事を尋ねる事、相談する事が主で、それ以外の要素はあまりないと思います。勿論課によって市民が関わる事情はあるでしょう。</p> <p>ましてや、市民の憩いの場などは必要ありません。かつて議会棟の下など全く使われませんでした。</p> <p>適度の案内板はもちろん必要ですが、其のための案内人や高価な案内板云々などは必要ないでしょう。今まで通り市民課が前にあれば一言聞くだけで済む事です。病院ではないのです。</p>	<p>社作業所等の物品販売、献血受付などのスペースとして利用を想定しております。そのため、総合案内・案内表示等と同じく新庁舎においては整備する方針ではありますが、必要以上に過大・華美にならない様に精査し、整備するものとします。</p>
5	10	<p>【津波浸水等に対応した設計に関する意見】(28ページ)</p> <p>今回新庁舎では、津波対策も考慮していることは当然でしょう。しかし現状の地は津波ではアウトの地域ですのではじめから覚悟はすべきです。だからと言って今の土地に決めたことは正解だと思っています。それが住民のサービスにつながるからです。覚悟すべきと申し上げたのは、浸水しないようにかさ上げて、住民がエレベーターを毎回使う等は間違っていると考えます。</p> <p>震災（主に津波に関して）の時の市役所の役目について、高い場所を提供し命を守る。一時避難するための空間はある程度必要ですが、けが人が出た時の対応は、病院しか考えられません。</p> <p>またその後の避難生活の場所は別に考えるしかありません。</p>	<p>28ページの「(3)津波浸水等に対応した設計」でも示した通り、日常利便性、周辺親和性、コスト・工期などの観点から建物1階への浸水を考慮した方式を基本とした設計を検討します。</p> <p>ご指摘のとおり、災害発生時には、救援・復旧活動等に支障のない範囲で一時的な避難所および福祉避難所として庁舎のスペースを提供する必要があります。一時的とは言え、避難者を収容するにあたり、必要となる資機材・食料等の生活物資については、可能な限り十分に備蓄できるよう倉庫を整備します。</p> <p>市民の皆様の防災拠点として、また災害の発生時にも司令塔としての機能が維持できる構造を備えた庁舎を整備するものとします。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>市役所は高い位置を確保して命を救い、その後は指揮する仕事の場所となります。</p> <p>ピロティ方式は、1階が浸水しないためですが、空間で3～4階を支えられるのか、安全性には不安が残ります。盛り土方式も賛成できません。むしろ反対です。市民に不便を与えません。</p> <p>1階が浸水するのは、覚悟の上、建物は壊れないこと。電気設備等は最上階に置くのは当然ですが、避難のための資材や食品は一定程度に留めます。御坊市の浸水マップでは、浸水の危険性のない駅前がありますので、お風呂や、食糧品も少しは間に合います。個々人が考える事が望ましく、余計なものを持たば後々の管理、（食糧品など特に）が大変です。仮眠室シャワーなども必要ないでしょう。</p>	
5	1 1	<p>【利用者にやさしい庁舎に関する意見】（13 ページ）</p> <p>ひとくちに公共施設と言っても、庁舎を訪れる市民にとっての大切なバリアフリーは玄関入ってすぐ各課がある事が大切です、病院では必要でも庁舎にはユニバーサルデザインなど必要ないと思います。</p> <p>私は、今まで市庁舎を訪れてトイレを利用したことが全くありません。多分他の人も同じで仕事の用が済めば、直ぐに次の仕事に帰っていきます。トイレは職員が使うトイレで十分です。</p>	<p>市役所は健常者のみならず、ご高齢の方、お体の不自由な方、妊娠中または小さいお子様連れの方等々様々な利用者が想定されます。そのため、13ページの「利用者にやさしい庁舎」および14ページの「具体的な機能」の中で示したとおり、ユニバーサルデザインおよびバリアフリーに配慮した施設・設備の整備は新庁舎において必須であると考えます。ただし、ご指摘のあるように多機能トイレ等の施設・設備については、関係法令・基準等に則り過大なものにならない様に整備していきます。</p>

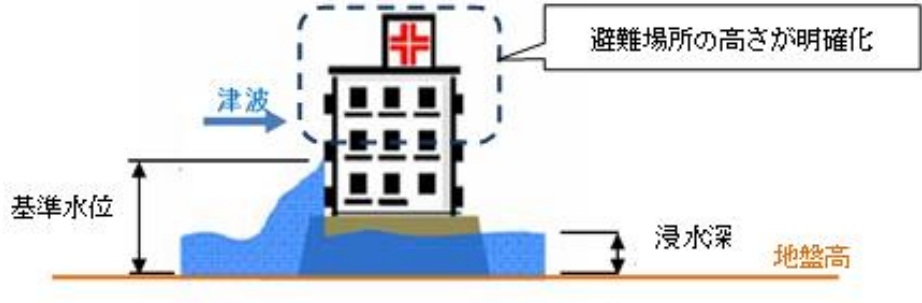

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>今までも述べたようにけが人を運ぶストレッチャーに対応するエレベーターも必要ないでしょう。</p> <p>(けが人はまず病院に運ぶので庁舎の階上に運ぶのでない。病院の対応では必要。)</p> <p>多機能トイレもいらない。使い方のわかった元気な方ばかりが使うし、庁舎に来るのは短い時間である事などが理由。一台ぐらい身障者用があれば十分ではないでしょうか。</p> <p>それは病院や駅など違う公共施設での話です。むしろ手でハンドルを回す簡便な水洗トイレの方が、停電時でも使えるし、壊れにくい。一年中つけっぱなしにせず、無駄な電力を使わない。</p>	
5	1 2	<p>【経済的・効率的で環境にやさしい庁舎に関する意見】 (15～16 ページ)</p> <p>省エネルギーを考えるのなら無駄に大きな施設にしないこと。自然光、吹き抜け区間システムなどグリーン庁舎の考え方は必要ないでしょう。そこで子供を育て、高齢者がゆっくり過ごす場所ではないからです。仕事の場所として効率の良い方法だけで十分です。</p> <p>余り先行した器具はかえってエネルギーを使います。人感センサー、や照度センサー等結局は省エネにならないし、後のメンテも掛かります。</p> <p>外との間のガラス窓も思い切りカットし、壁を増やす方法はどうでしょう。(壁で覆われた倉は涼しく、暖かい)</p>	<p>「整理番号4」の7行目の意見に対する回答および16ページの「具体的な機能」をご参照下さい。費用対効果を十分に検討した上で、長期的な運用およびライフサイクルコストに十分配慮した設備を導入します。</p> <p>ガラス窓の採用や植栽の有無など庁舎の意匠に関連する事項については今後十分に検討させていただきますが、明るく開放的で市民の皆様に親しまれる庁舎となるよう整備いたします。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>光を取り入れるのは縦長の幅の狭い開け閉めのないスリットガラスを連続してはめ込めば、外観も透かして見える。庇もいらなくなる。世話のかかる落葉樹もいらなし、適度な広さの壁を活用すれば、書庫、展示物にも使え、ロビーも有効に使える。外観も新しいデザインになる？</p> <p>現代社会では、エアコンが普通に使えるなら（施設を作れば必ず使う事になる）銀行、病院、庁舎等で窓を開けて仕事している姿は見たことが有りません。エアコン、空気の通り道の階段があれば空気の循環は可能でしょう。階段は各階の真ん中にあれば便利だと思います。</p>	
5	1 3	<p>【駐車場に関する意見】（23 ページ）</p> <p>立体駐車場は、高齢化社会に必要な危険なもので、田舎で使う必要もなく、来庁者は使いたくないと思います。駐車場をうまく配置すれば余地はあるでしょう。職員駐車場は個人が用意する。公用車は共同で使うレンタル式にすれば数が減りますが？</p> <p>なるべく盛った計画をしないために厳しく考えてみました。なるべくお金をかけないで、健康、子育てに余力を残した行政をして、個人に余計な負担のない財政でいてほしいです。</p>	<p>立体駐車場は、現在地が津波浸水区域内であることから、復旧・復興段階において迅速な活動が出来るように、公用車の水没を防ぐために必要があると考えます。</p> <p>また、立体駐車場を災害時の一時避難所として活用することも検討しています。</p> <p>なお、平時において一般来庁者の方が不便にならぬよう、平面駐車場の整備についても検討します。</p>
6	1 4	<p>【建物配置に関する考え方に関する意見】（24 ページ）</p> <p>今回の建設計画にあ然とさせられました。御坊の衰退ぶりにも、あわれを感じます。御坊駅前に食事する所がないという訪問者の声をよく聞きます。ものすごい反響で作成された18m道路の活用を考えないと、未来の方々のもの笑いの種になるとい</p>	<p>1 8 m道路沿線については、庁舎建設に適した規模の土地が見受けられず、また個々の地権者との用地交渉についても、有利な起債の適用期</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		うことを思えば、18m道路の近くに新庁舎を建てることを望んでやみません。	限等のスケジュールの観点から困難であると判断し、新庁舎建設の候補地とはなりませんでした。
7	15	<p>【構造計画、構造形式に関する意見】(25～27 ページ)</p> <p>4 ページ：現在の庁舎・議会棟はIs 値が0.6 を大きく下回っていることから震度6強から7程度の大地震が発生した場合は倒壊する恐れがある。新庁舎は、Is 値を最低でも0.6以上として大地震が発生した場合でも倒壊しない基礎工事や免振や耐震構造が必要。</p>	27 ページで示している通り、特に高い耐震性能を有する免震構造を採用するものとします。
7	16	<p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(12 ページ)</p> <p>6 ページ：来庁者への事務手続きをスムーズにしプライバシーが確保できるスペース等も確保。</p>	12 ページの「具体的な機能」にて示している通り、来庁者の皆様の利便性・プライバシーに配慮した設備を整備する方針です。
7	17	<p>【利用者にやさしい庁舎に関する意見】(13～14 ページ) 及び</p> <p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(11 ページ)</p> <p>7 ページ：入口付近や庁舎内にはきめ細やかなバリアフリーやユニバーサルデザインの導入が必要。また平常時は憩いの場として、非常時には避難所としてのスペースの確保が必要。</p>	13 ページ「利用者にやさしい庁舎」および14 ページ「具体的な機能」にて示した通りです。市民の憩いのスペースについては「整理番号9」の4行目以降をご参照下さい。
7	18	<p>【議会施設の整備に関する意見】(17 ページ) 及び</p> <p>【安全・安心な庁舎に関する意見】(9 ページ)</p> <p>17 ページ：議場、正副議長室、議員控室、委員会室、市民相談用の相談室、図書室(資料室)を確保すること。 防災対策本部室の確保すること。</p>	17 ページにて示している通りとなります。なお、市民相談用の相談室については、限られた庁舎の規模を踏まえ議会専用としてではなく、他の課との共用という形式でも検討します。 防災対策本部室の機能については9 ページに示した通りとなります。

提出者番号	整理番号	意見の内容	意見に対する回答
8	19	<p>【安全・安心な庁舎に関する意見】(9ページ) 大津波警報発令時の災害対策本部は別場所(湯川中学校?)での指揮命令となるが、その場合の別場所の電源や通信回線設備を新庁舎建設の時期に関係なく予め整備しておく必要があると思います。</p>	<p>今後、必要な機材等の整備を順次進めていく予定です。</p>
9	20	<p>【利用者にやさしい庁舎に関する意見】(13~14ページ) 子供と一緒に入れるトイレを作ってください。</p>	<p>13ページ、14ページで示した通りユニバーサルデザインを取り入れ、誰でも不自由なく利用できる多機能トイレ等の設備を整備します。</p>
10	21	<p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(11~12ページ)及び【利用者にやさしい庁舎に関する意見】(13~14ページ) 子育て支援センターびよびよルームについて、もう少し広さを必要としていると思います。駐車場も少し離れており、小さい子どもを連れて行きやすい様にして頂きたいです。 また、昼食を食べられる部屋があるとうれしいです。</p>	<p>現在わかば保育園に併設されている子育て支援センターについては、新庁舎への移設等の計画はございません。ご不便をおかけし申し訳ありませんが、今後の検討課題とさせていただきます。 12ページに記載している「市民が気軽に利用できる交流スペース」を来庁者が食事を取れる空間とするかどうかは、設計段階で検討します。</p>
11	22	<p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(11~12ページ)及び【利用者にやさしい庁舎に関する意見】(13~14ページ) 小さい子供から18歳未満の児童が楽しく遊べる多目的室を作って欲しい。 幼児がいつでも行って遊べたり、保健師さんや保育士さん等専門の方に相談できる場所があれば安心して子育てできる。</p>	<p>小中学生が対象となりますが、様々な活動(遊び)の場として市立児童センターがございます。また小さいお子様連れで保健師の相談等を受けられる子育て世代包括支援センター(にっこりあ)を市役所2階に開設していますが、同様の機能を新庁舎にも整備する方針です。</p>
12	23	<p>【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(11~12ページ)及び【利用者にやさしい庁舎に関する意見】(13~14ページ) にっこりあの場所がわかりづらく、また誰に声を掛けたい</p>	<p>「整理番号22」の意見に対する回答をご参照下さい。にっこりあにつきまして、現庁舎の狭隘なスペースで設立したためご不便をお掛けし</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		いのかわからず利用しにくいので、気軽に利用できるようわかりやすい場所で専用の窓口を設置してほしい。	申し訳ありません。ご不明な点がありましたらお近くの職員までお声かけ下さい。なお、新庁舎では、よりわかりやすい案内表示を設置する方針です。
1 2	2 4	【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(11～12 ページ) エレベーターの場所や行きたい課の場所がわかりづらいので、市民がよく使用する課が入っている階のフロアマップを入口付近もしくは1階中央などに掲示して欲しい。	1 1 ページをご参照下さい。
1 3	2 5	【わかりやすく親しまれる庁舎に関する意見】(11～12 ページ)及び【利用者にやさしい庁舎に関する意見】(13～14 ページ) 地域子育て支援センターを庁舎の中に設置して欲しい。理由は①保育室のスペースが狭い。 ②駐車場の便が悪く、赤ちゃん連れで雨天・冬季にはとても不便を感じる。 ③保育士だけでなく、保健師さんとのつながりが他のにっこりあ等の事業と関連して進めていける。 上記のほか、核家族の多い家庭の中で、相談できる場所も少ない。また、支援センターの中で、一時預かりをしている市町もあるので、その点も含め検討していただきたいです。保育園自体でも他の支援を要する子どものスペースが必要なのです。	「整理番号 2 2」の意見に対する回答でも示しましたが、子育て世代包括支援センターにっこりあと同様の機能を新庁舎でも設ける方針です。ただし、庁内のスペースの問題もあり、地域子育て支援センターの新庁舎への移設は困難かと考えます。 幼児を連れてお越しの方にも利用しやすい機能・サービス等については十分に検討していきたいと考えます。

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
1 4	2 6	<p>【津波浸水等に対等した設計に関する意見】(28～32 ページ) 28 ページ・2-3 行目 最大津波高 1.6 m 市役所前海抜 3.5 m 差し引きと 1.2.5 m の浸水が予測される中、津波基準水位 3.5 m では少なすぎる。</p> <p>他の市等の事例ではなく具体的に御坊市の実情に合った設計をしないと、災害時に市民が必要とする、罹災証明発行・救援物資集積指令・各種情報発信の基地にはならないと思う。</p>	<p>8 ページに示していますが、県公表の南海トラフ巨大地震による津波想定では、本市の最大「津波高」(※1)は 1.6 m、平均浸水深は 3.7 m とされています。現庁舎付近の「基準水位」(※2)は 3.5 m 程度と想定されており、海岸線付近で想定されている「津波高」がそのまま現庁舎付近の「基準水位」になるとは想定されていません。</p> <p>想定外の規模の津波には対応しないということではなく、設計段階にて十分配慮することとします。</p> <p>※1：「津波高」…津波がない場合の潮位 (T. P.) と、津波により上層した海面の高さとの差。</p> <p>※2：「基準水位」…津波が建物等に衝突した際のせり上がりを考慮したもので、地盤面からの高さ (水深) を示す。</p>  <p>【参考図】和歌山県ホームページ「津波災害警戒区域の指定について」より</p>
1 5	2 7	<p>【建物配置に関する考え方に関する意見】(24 ページ) 24 ページ (7) 建物配置に関する考え方 「◆図：新庁舎配置のイメージ」で現在の駐車場に新庁舎の建設予定ですが、庁舎敷地内の道路が  の字になって居り、この道路に駐車される方が多く通行しにくく非常に危険です。</p> <p>そこでこの道路を国道へ抜ける方向をやめて、南北の道路にして新庁舎と立体駐車場を合わせた方が利用しやすく安全と思</p>	<p>ご指摘のとおり、来庁者駐車場に空きがあるにもかかわらず、庁舎の正面玄関および北側の公用車専用駐車場に駐車される方がおり、円滑な通行の妨げとなり、歩行者の安全性に問題があります。</p> <p>24 ページの「(7) 建物配置に関する考え方」について、今後検討を進める中で、いただきましたご意見を参考にさせていただきます。</p>

提出者 番号	整理 番号	意見の内容	意見に対する回答
		<p>います。新市役所窓口が2階以上になるとのことで、立体駐車場から庁舎内にすぐ入れるのはありがたいです。</p> 